

先生へ

ラジオネーム：匿名希望

この間、当時のクラスメートからあなたの訃報を聞きました。

中学を卒業して以来20年、一度も耳にすることのなかった

あなたの名前を聞いて、苦い思い出が色々と甦りました。

あなたは、なぜか僕には態度がよそよしく、

僕がテストでどれだけ良い点を取っても、

決して誉めてくれることはありませんでしたね。

いじめに遭っていた時も見て見ぬふり。

僕は、中学の同級生が誰もいない高校に行きたくて、

必死で勉強しました。

そして、覚えていますか？高校の合格発表の日。

職員室に合格の報告に行ったら、そこにいた先生達はみんな

僕の手を取って「おめでとう」と言ってくれましたが、

あなただけは僕に背を向けたまま「合格したのか？そっか…」

と一言だけ…それがあなたと交わした最後の会話でしたね。

その後、高校の入学式までの間、モヤモヤした気分が

抜けずに過ごしたものです。

先生、あなたはなぜ私にそれほど冷たかったのでしょうか？

やはり私のことが嫌いだったのでしょうか？

もちろん、教師だって人間ですから、

聖人君子のように振舞ってほしかったとは言いません。

気が合う人、合わない人はいるでしょう。

もしかしたら、僕に何か原因があったのかも知れません。

何しろ生意気盛りの中学生でしたから。

ただ、それも今となってはもう分かりません。

クラス会のお誘いは何度もいただいていたので、

出席して直接問い質すこともできたとは思っていますが、

クラス会には顔を出す気分にはなれませんでした。

たぶん、この先も顔を出すことは無いと思います。

故郷から遠く離れた地でこのような手紙を書くのは、

卑怯なことだとは分かっています。

ですが、あなたへのモヤモヤした気持ちに、

私なりにピリオドを打つために書かせていただきました。

ご冥福をお祈りいたします。

リクエスト曲

〈 世情せいきう / 中島みゆき 〉

